

2018年度決算概要の公表について

銚子信用金庫（銚子市双葉町5番地の5、理事長：松岡明夫）は、2018年度決算（2018年4月1日～2019年3月31日）の概要を下記のとおり公表いたします。

記

1. 預金積金・貸出金の状況

単位：百万円

	2018年3月末	2019年3月末	増減
預金積金	489,803	492,960	3,156
貸出金	139,067	141,317	2,249

預金積金残高は、夏・冬の定期預金キャンペーンによる獲得活動と、年金・給与の振込などにより、前期比3,156百万円（0.64%）増加の492,960百万円となりました。

貸出金残高は、事業者のお客さまにはライフステージに応じた資金の需要喚起のほか、課題解決に着目したご融資のご提案を行い、個人のお客さまには金利割引制度を利用した住宅ローン・各種個人ローンのご提供、事業者パートナー制度による特別金利でのご提供を行ってまいりました結果、前期比2,249百万円（1.61%）増加の141,317百万円となりました。

2. 損益の状況

単位：百万円

	2018年3月末	2019年3月末	増減
経常利益	653	936	282
当期純利益	631	693	61

経常利益は、貸出金利息や有価証券利息配当金等の資金運用収益が利回りの低下などから減少となりましたが、経費の削減および株式等売却益の計上などにより、前期比282百万円増加の936百万円となり、当期純利益は、同61百万円増加の693百万円となりました。

3. 不良債権（金融再生法上の開示債権）の状況

単位：百万円

	2018年3月末	2019年3月末	増減
不良債権残高	8,526	8,294	△232
不良債権比率	6.10%	5.85%	△0.25%

不良債権残高は、毎期年度当初に策定する不良債権処理計画に基づいて処理を進めるとともに、事業再生等の支援に積極的に取り組んだことにより、前期比232百万円減少の8,294百万円となり、不良債権比率は、同0.25ポイント低下の5.85%となりました。

4. 自己資本比率

	2018年3月末	2019年3月末	増減
自己資本比率	12.35%	12.42%	0.07%

当期純利益を内部留保することにより自己資本額は前期比419百万円増加し、自己資本比率は同0.07ポイント上昇の12.42%となりました。

以上

本プレスリリースおよび資料についてのお問い合わせは下記の担当までお願いいたします。

銚子信用金庫 総合企画部（担当：芦崎）

〒288-8686 千葉県銚子市双葉町5番地の5

TEL：0479-25-2115 FAX：0479-22-9909 e-mail：keiki@choshi-shinkin.co.jp